



〒869-12 熊本県菊池郡大津町森54-2 ☎096-293-8100  
社会福祉法人 三気の会 三気の里

研修会

理事長 田中 稔

この4月、8名の園生でスタートした自閉症児等の発達障害児の為の通所療育教室「LT教室」は6ヶ月後の現在、学童児を含め既に六十名を越えています。

これ程までの保護者の期待、希望に少々驚きでもあり、嬉しい事でもありません。しかし、お預かりする者として戸惑いもあります。流行の様にして数が増えるのでは困ります。私共の考え方、療育の進め方を理解頂いた上でLT教室を選択してほしいと思います。この為、保護者との話し合いを頻繁にもっています。お父さん達の集まりである「FT講座」を9月11日に開きました。第2土曜日にしたのは、公務員、学校の先生方に多く参加頂きたいと思ったからです。6月に法人主催の実践セミナーを開催したばかりだというのに70名近くの方が部屋一杯に集まってくれました。マイクを使わなかった為に、後ろの方々にも聞こえる様大きな声を出し、終わった頃には声がかれてしまいました。

今回の話は、セミナーの時と一

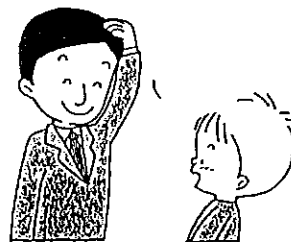
部だぶりでしたが「脳」の発達障害という立場から見た自閉症を始めとする各障害についての考え方、療育法についてでした。私共のLT教室で採用している療育法は、「コロロ方式」というもので、具体的に実践的な療育法です。机上で組み立てたものではなく、現場から出発しています。私のコロロ方式の理解の仕方を模式図にした物を使ってみましたが、分かりやすく、なかなか良く出来ていると専門家からお褒めの言葉を頂きました。

LT教室を見た事もなければ、私共の話を聞いた事も無い様な人が枝葉末節的な事を取り上げて、「厳しい！」等と訳の分からない批判をされているのを耳にします。私共は15年後の子供達の姿を頭に描いて療育をしています。コロロ方式は、子供の自主性を大切にしたい深さと広がりをもった療育法です。今回の研修会は学校関係者、専門家といわれる方々にも案内を出しました。互いの療育法について議論をしたいし、専門家といわれる方々が自分の言葉で療育法を述べられるのを保護者と共に聞きたいと思ったからです。

「こうして皆さんにお話しをさせて頂く事で、私も勉強させて頂いています。コロロ方式は保護者を協同の療育者と考えます。これからの何度もこうした勉強会を持ちましょう。」と締めくくりました。

ゆうあいピック  
熊本大会迫る!!

期日：10月16～17日（土・日）  
場所：水前寺競技場他  
駐車場は東税務署前、  
尚、シャトルバスが無  
料で運行されております。



## 療育シリーズ

共同療育者

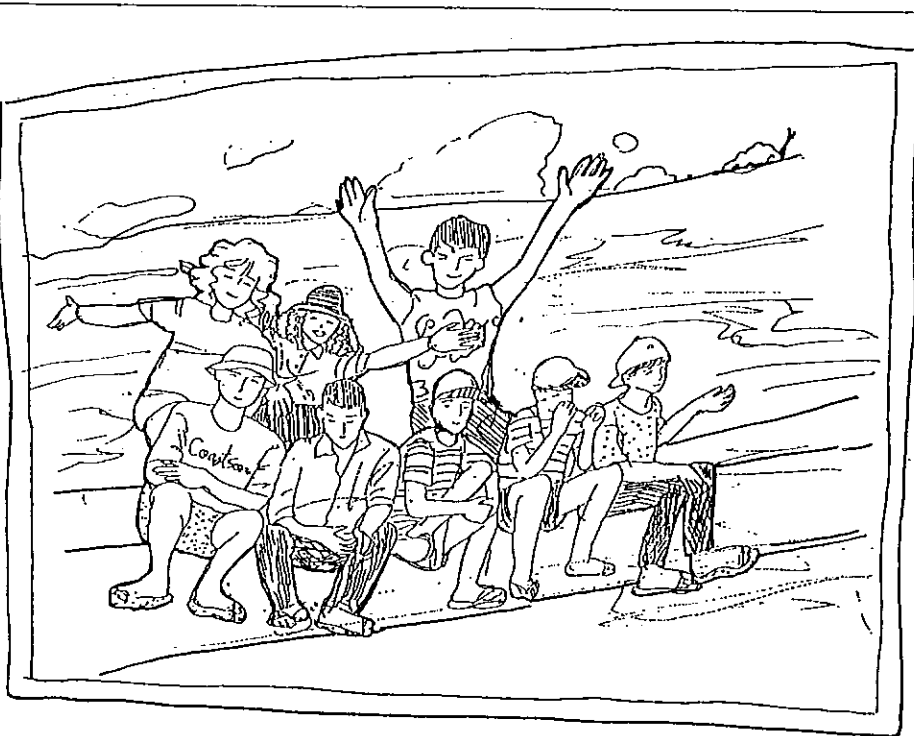
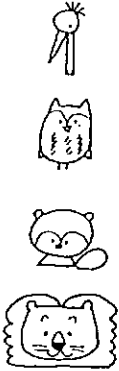
園長 土井尚典

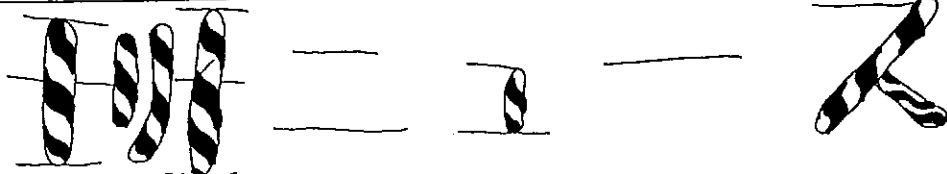
障害児者（以下園生）には適切な時期に適切な環境・療育を提供する事が大切だと思います。適切な時期に適切な環境を提供することは法人・施設・保護者が、園生一人一人の10年先・20年先・30年先を見通して療育して行くことが大切です。園生の障害そのものについて知り、障害の状態を十分に知ることから始まります。また保護者は家族で将来計画を考え、保護者同士も話し合っって計画をもつことが大切だと思います。園生の療育は、園生の思い・保護者の思い・職員の思いが折り合う点で療育は進んでいきます。人の思いを感じるとる感性で現在から将来にわたる園生の処遇はコーディネートされていきます。

施設入所者の保護者はともすれば受け身になりがちですが、間違っていると思います。施設に預けたから安心というのではなく、施設に入所させたときから施設との共同療育者となっている自覚を持っていただきたいと思います。

日々の暮らしは地域の中で育まれます。散歩したり、買い物したり、話をしたり等の日常場面で地域の人が療育者となってくれます。地域の方が障害者に気付き、障害者に触れて行くプロセスで地域の方々が育ち、園生も育てられると思います。しかしながら、地域の方たちは施設を見るときに施設の職員や保護者を見えます。特に職員と保護者の在り方が地域との関係を作ると言ってもよいとおもいます。障害者の施設だから理解して欲しいという甘い考えは受け入れてくれません。「障害者に普通の暮らし」を提供するためには施設自体が「普通の暮らし」の一員として地域に溶け込む必要があると思います。

地域の中では地域の人の輪が希薄になって行っている世の中です。施設への風当たりも強くなりますが、むしろ園生を通して、施設が中心になって地域の輪を作って行く時代かも知れません。地域には園生の生き方を通してたくさんの芽が育っているように思います。





### 1 班 帰って来ました四国から

9月15日(水)待ちに待った四国旅行。三気の里をAM7時に出発し、とにかく「アッ」と言う間の暑く、楽しい3日間でした。ここでみんなの様子を御紹介します。

先ず、何と言っても大スターだったのが上田さん。添乗員さん、バスガイドさんを始め、行く先々で大モテび。「上田のおいちゃん。」と呼ばれ上田さんもうれしそうでした。飛行機怖い組の龍也くん(お母さん)、文ちゃん、英くん、山布子さん、路子さんは慣れたせいか平然な顔付き?(手には汗がにじんでいたようですが)で座っていました。お買い物大好き!の忠ちゃんは、お母さん達に負けない程お土産選びを楽しみました。聡士くん、英輔くんは食事前にお得意の舞(?)をお披露目してくれ、それを見ながらのごちそうに舌つづみ。四万十川の遊覧、道後温泉での広〜いお風呂ではゆ〜たり。とにかく笑ひ笑ひの楽しい旅でした。みんな来年も楽しい旅行に行こうね。その為にも毎日の作業Fight!!

石丸

### 2 班 嵐の中の与論島

こんがり焼けたと言うより「真っ黒」になって帰ってきた2班のみんなは、「東洋の真珠」と呼ばれる与論島へ行ってきました。2泊3日の予定が台風13号の影響で帰れず、延びに延びて6泊7日の長〜い旅行となりました。

与論島の海はとってもきれいで、「こんなきれいな海見たことない!」「来てよかったね。」の連発でした。ニコニコしてきれいな女の人の側で波と戯れる真一郎くん。肩までの深さの所まで泳いで行き喜んでいるてっちゃん・まこちゃん。体を前後きれいに焼き、砂に埋められた順ちゃん。砂遊びを思う存分した憲ちゃん・雄ちゃん。砂浜で日光浴を楽しんだ希久ちゃん。真っ赤に焼けて痛くてなかなか海に入れなかった新ちゃん・武ちゃん。濡れるのが嫌いなかずくんも海に入り、修ちゃんは「あと一週間位いたかった。」と言う程楽しかった様です。職員もわざわざゴーグルを買い、海の中を見て熱帯魚を見つけては大喜びしていました。熱帯魚を捕まえ(素手で)、砂浜に水族館を作ったり(後からちゃんと海に返してあげました)お金のかからないマリンスポーツを思いっきり楽しみました。

今回、飛行機の乗り継ぎ(福岡-鹿児島、鹿児島-与論島)と6泊7日の宿泊レクという三気の里での新記録をつくりました。いつもと違った環境の中に長期間滞在し、特に問題もなく過ごせたみんなの成長ぶりをみて、とても嬉しく思いました。(これも台風のおかげかな?)

体調が悪くて参加できなかった稔くん、今度は一緒に行こうね!

今村

### 3 班 台風のち晴天!

この夏あちこちで台風が猛威を振るいましたが、皆さんのお宅では如何でしたでしょうか?我が3班(農耕・園芸班)では、以前から台風の度に色々な災害を被ってきました。今年も雨天時の作業用ハウスや花苗のポットを風に飛ばされたりしましたが、ここ2~3年の反省からタンポポ市場はロープでグルグル巻きにして風に備えたおかげで、少し傾いただけで済みました。このように色々な物の修理なども大変ですが「苦あれば楽あり。」の言葉どおり、楽しい収穫の時期を迎えます。農耕班ではやっと手に入れた『幻のサツマ芋』の出荷が始まりますし、園芸班からはブルーベリージャムや花苗の出荷もはじまります。又、17坪程のガラス温室も頂ける事になり、これから先色々な事にチャレンジ出来そうですし、新作業棟の完成も間近にせまりました。まだまだこれからの3班ですが、これから何かが始まりそうな楽しい予感でいっぱいです。秋の高い空の下、気持ちよい風に吹かれてみんなでがんばろうね。

東

スポーツ  
——ステーション

「運動会準備」

田邊剛政

9月、いよいよスポーツの秋。当園でも、第三回目の運動会が三気の里グラウンドで催されます。しかし、グラウンドは夏休みの間に大草原と化し、増築工事のために切り採られた杉等がグラウンドの端に山積みになっていて、とても使える状態ではありません。そのため、運動の時間はグラウンド整備に当て全員で草取りに汗を流しています。各班での作業にも組み込んでもらっているにもかかわらず、普段の手入れも悪いせいか中々きれいになりませんが、保護者の方々との協力もあり、グラウンドは一気に整備され、残すところ後一週間、何とか運動会が出来そうというメドが立ってきました。周囲に丸太や資材がおいてある分、昨年より一寸狭くなりますが、三気の里の元気を前面に押し出し、楽しい運動会にしたいと思っています。整備にご協力下さいました保護者の皆様、有り難うございました。今度は、運動会でたっぷり汗を流して下さい。

ふれあい

キャンプ

東 正実

冷夏と言われたこの夏、忘れていたように残暑がぶり返した8月28日(土)〜29日(日)の両日、大津町社会福祉協議会主催のキャンプが大津町陽の原キャンプ場で行われ、三気の里からは7名の園生と3名の職員が参加しました。当日は午後3時からいから集合という日程だったのでありますが、そこは「働き者」の三気の里のメンバー、午前中からテントを張ったり、準備物の搬入を手伝ったりと、参加者と言うよりはボランティアという言葉で頑張ってくれました。日中のんびり過ごし、夕食では愛情たっぷりのカレーに舌鼓を打ってお腹いっぱいになった後は、大きなキャンプ・ファイヤーを囲んでの歌にダンスに花火大会と、盛りだくさんイベント。久しぶりのキャンプに皆とても楽しそうに過ごしていました。翌日は又、撤収の手伝い等をしてくれましたが、園外の人達と触れ合い、笑顔いっぱい過ごせたこのキャンプ。皆にとつてこの夏一番の良い思い出になったように、色々な人達と「また、来年。」と、再会を約束しての帰

園となりました。

終わりにになりましたが大津町社会福祉協議会関係ならびにボランティアの皆さん楽しいキャンプをありがとうございました。又来年もよろしくおねがいします。

後援会入会

ありがとうございます



- 川下宣彦 川口健吾 堤 純也
- 横山政行 本田浩二 財賀真理子
- 内田裕己 北原慎也 真東 洋
- 大石諒子 穂月仁博 千田浩之
- 芹口恵太 松田脩介 岩永倫子
- 梅田祥太 村上淳一 後藤冬樹
- 高森 毅 道上裕佳 森 裕三
- 大塚国昭 小島英輔 阿蘇品慶伸
- 清田翔平 高水幹治 五百路智美
- 渡邊一弘 神酒武志 中道慶龍
- 赤嶺焔夫

九月二十四日付け

※敬称略

♪♪「ゆみちゃんのDIARY」♪♪



ふれあいキャンプに参加して



今日は、キャンプに来ています。朝から、大津町福祉センターでたくさん仕事をしました。いそがしかったです。私は、藤井さんの軍でした。また、谷村君とお兄ちゃんとおしゃべりしました。ボランティアさんたちが来ました。一緒におしゃべりしたりあそんだり花火も一緒にしたりしました。夕ごはんは、カレーとおにぎりでした。とてもおいしかった。今日のキャンプはとてもたのしかった。友達もたくさんできました。またキャンプに来たいと思います。ボランティアさんと一緒におしゃべりできたことがとてもよかったです。

ゆうあい

フォーラム

坂井 省英

9月1日、ゆうあいフォーラムが県立劇場にて開催されました。このゆうあいフォーラムは、こころコンサートから、ゆうあいピック熊本大会に向けてと題して行われました。

第一部は、3人の方が、こころコンサートでの体験について、スペシャルオリンピックでの感動、障害者の自立と就労について体験発表されました。第二部は、福島県知事、鈴木県劇館長、武元愛護協会長、川村育成会副会長によるパネルディスカッションが行われました。

第一部は、障害者との交流、ボランティアのすばらしさ、スポーツの感動が熱く語られていました。第二部は、知事が福祉行政の立場から展望を語られ、館長はボランティア精神のめざめ、そして出会いについて語られ、福祉の立場から現状が訴えられ、相互の交流がなされたのではないのでしょうか。より多くの人の参加と出会いの場として、ゆうあいピック熊本大会の成功を念じ閉幕しました。

ニエントナル通信

森 隆子

今回は、夏休み家での歯磨きの様子をお伝えします。休み中の歯磨きカレンダーを回収したところ、以前に比べて上手になったとか、仕上げ磨きがやりやすくなったとか書いてありました。

仕上げも主にお母さん、次お父さん、お姉さんとありました。食後の「歯磨きをしないさい。」の一言がいい結果となっているようです。休み明けのブラッシング指導も休み中の清掃がよかったのか、例年になくきれいでした。

- ①長時間の仕上げは嫌がるので数えながら短時間です。
- ②風呂に入る時必ずコップとブラシを持って入る。
- ③歯ぐきを指でマッサージュする。
- ④お父さんに協力してもらおう。
- ⑤「アー。」から「イー。」が出るまで頑張る。
- ⑥園では歯磨き粉を使わないけど沢山使いたがるなど、読んでいて微笑ましく思いました。全体的に

少しずつではありますが、家での仕上げ磨きが定着しつつあるようです。治療の方も80割ぐらいは終わっているようです。後は歯磨きと定期検診で現状維持していきたいものです。

食営生営白業中

去る9月1日から三日間の予定で2班レクレーションのヨロン島行きがあり、厨房からは村上さんが参加して、残された4人は羨みながらみんなの帰りを待っていました。しかし、第一目にして台風が。大丈夫か？と心配しながらも、四人で「みんな帰って来れないかも？」と冗談を言い合っていました。その日のまさか現実

に。慌ててみんなが帰って来るはずの食事の材料注文をキャンセル。三気の里でも台風の影響で、断水の恐れがあるため、大鍋に水を張っている間、ますますヨロン島みんなが気掛かりになりました。結局、そんな心配はよそに一週間後、元気に真っ黒な姿で帰って来ました。とにかくみんな無事で良かった、良かった。

栄養の話

お米が好きな人にとって、一日にどの位食べられるか気になります。主食として摂れるエネルギー量は、一度の食事量の40%位が良いとされています。仮に一日2000キロカロリーとして、その40%、800キロカロリーをすべてご飯で食べるとすると、軽く五杯になります。それを一日三食、又は間食や夜食に振り分けて献立にすると理想的です。

前田



1班ニュース

残暑もまださめやらぬある日、再びココロ村の小屋にヒナが戻ってきた。

6月のあの事件以来、落ち込んでいたヒナ鳥の父も「ヒナが戻って来る。」と聞いて、さっそく小屋の修理に取り掛かり、引っ越しの準備。次の日、待望の子供達がやって来た。その姿を見て、微笑む父であった。



10月の行事予定

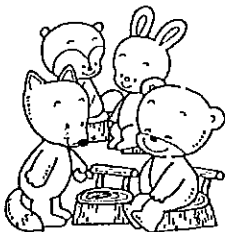
日	月	火	水	木	金	土	備考
けんいちくん、ゆうちゃん、てっちゃん、誕生日おめでとう ⑩ゆうあいピック(16日~17日)					1 けんいちくんの誕生日(21)	2	
3	4	5	6 ゆうちゃんの誕生日(19)	7 2班レク	8	9 保護者会 帰宅日 てっちゃんの誕生日(23)	
10 体育の日	11 振替休日 [祝]	12	13	14	15	16 ゆうあい ピック	
17 →	18	19	20	21 1班レク 誕生会	22	23 帰宅バス 運行開始	
24 31	25	26	27	28 3班レク	29 たんぼぼ	30	



ボランティアア通信

スポーツの秋、食欲の秋、芸術の秋と言われる季節。たんぼぼを読まれている方々は、どのような秋を迎えられているのでしょうか。毎回ボランティアとしてたくさんの方々に三気の里を訪れてもらっていますが、みんなと一緒に外に出てみて、又、何かをしようとした時、ボランティアさんの力添えの大きさを実感し、ありがたく思います。前回のボランティア通信でも紹介したように、三気の里のみんなは、陽気でいろいろな表情を私たちに向けてくれます。これから山登り、ボランティア学習会、クリスマス会...と予定しています。どうぞ懲りずに二回、三回とお友達を誘って気軽に遊びに来てください。園生、職員一同お待ちしております。

石丸



(募集)

来る11月3日(水)ボランティア学習会として山登り(九重)を計画しています。

みなさん秋空の下、一緒にさわやかな汗を流しませんか。

※10月20日(水)までに、担当山中・今村・満原・石丸まで御連絡ください。お待ちしております。(ボランティアありがとう)

☆ブラッシング指導

森 隆子 栗屋美保

牛嶋さとみ 後藤由美

☆散髪

坂本シマコ

☆清掃

園田美津子 遠山一恵

(敬称略)



編集後記：運動会を明後日に控えてのたんぼぼ編集。練習の後だというのに、編集部員は「原稿は？」「〇〇はしましたー」等、元気な声がまるで運動会のように職員室の中をかけっこしています。三気の里のちよっと早い運動会かな？ ☆たんぼぼ冊子完成しました。泉